

屋根の応急処置！



# ブルーシートのはり方



DAWボランティアセンター

NPO災害ボランティア

ai-chi-jin 赤池博美

# まずはじめに 原則としてプロに依頼することが前提です。

- この講座のねらい
  - どうしても屋根に上らなければならないときの最低限の注意点を知る
  - 業者を見分けられるようになる（詐欺に注意）
  - 間違った方法で行って逆に被害が大きくなるのを避ける



# まずはじめに その2 熱中症に注意！！ 絶対！

- 喉が渴いていなくても水分・塩分をこまめにする
  - できれば、飲み物を携帯して屋根に上がる
  - 水分だけではなく塩分も取る
  - 体調が悪くなってからでは遅い



# 1-1. 安全確認

- 作業者の健康状態を確認する
  - 十分に睡眠が取れているか
  - 二日酔いしていないか
  - 体調は悪くないか
  - 最低でも3人で作業する
- 屋根にのっている「だけ」で疲労します
  - 水分を十分にとる（塩分も）
  - 作業し続けずに、間に適切に休憩する
  - 疲れたと感じたら無理せずに切り上げる



## 1 - 2. 安全確認

- 服装などを確認する
  - ヘルメット
  - 長袖・長ズボン・滑りにくい靴（瓦は滑る！）  
地下足袋、なければ運動靴で。
  - ゴム手袋
  - 安全帯（フック付） →



# 1 - 3. 安全確認



- はしごを固定する
  - 安定している場所に設置し、地面がぬかるんだりしていないか確認する
  - 誰か上るときには下で梯子を支えておく

# 1-4. 安全確認



- 命綱をつける

- 親綱を張る 親綱：命綱を結ぶための綱  
親綱は下で太い樹木や丈夫なカーポート、ブロック塀等にしっかりと結びつける

大屋根の場合は親綱に通したアッセンダーにカラビナをつけて安全帯のフックをかける

片屋根の場合は親綱に直接安全帯のフックをかける

- アッセンダー：落ちたときにロープが留まる道具



## 2-1. ブルーシートの準備

- 屋根の大体のサイズを測る
  - ブルーシートと土嚢袋は紫外線に強いUV仕様、もしくはブルーシート番号で3000番以上の耐久性6ヶ月以上の製品を使用する
  - 屋根のサイズに合わせてブルーシートの大きさを決める。合わない場合は切断する。
  - 大きいシートを使用するのが困難な場合は、小さいサイズのものを複数使用してもよい
- 屋根に上る前にブルーシートを畳みなおす
  - 屋根の上で広げやすくするため



1. 平らな場所で広げる



2. ちょうど中心に印をつける

## 2-2. ブルーシートとの準備



3. 中心に向かって両側から全部で3回折る

## 2-3. ブルーシートをはる前の準備

- 屋根に上る前にブルーシートを畳みなおす  
□ 屋根の上で広げやすくするため



4. 両側から折ったら、端から折り曲げていく  
(片方からたたんでいく方法もあります)  
□ ちょうど最後の一折り、中心の印が見えたら正解

## 2-4. ブルーシートをはる前の準備

- 屋根の上で、まずブルーシートをはる場所の中心と、ブルーシートの中心の印を合わせるように設置し、少しずつ広げていく。



- 広げたところから先に土嚢をのせておくと、ブルーシートの飛散防止になる。

# 3-1. 屋根の準備



- 屋根の整理整頓をする

- 屋根に上がったら、できるだけ瓦と瓦の重なる部分を歩くようにする  
長期に渡って濡れている屋根は腐っていることもあり、瓦のない部分は踏み抜くことがあるので注意する
- 割れた瓦を取り除く  
棟瓦は屋根から下ろす（重石として屋根に置かない）  
割れた瓦やその破片を土嚢袋に入れない
- 自力で修正できそうならずれた瓦を元に戻す



## 3-2. 屋根の準備



- なるべく尖った部分を作らないようにして、直線を作る
- どうしても尖った部分がある場合には、使い古しの座布団、布団、マット、バスタオル、破れたブルーシートなどを緩衝材として当てる

# 4-1. ブルーシートをはる（大屋根）

□大屋根の場合は、シートの両側を巻き込み固定する（巻き込み方は後ほど）



←※痛んだ棟瓦は下におろしておく



※棟瓦を外したら、緩衝材を入れる↑（ブルーシートや座布団など）



## 4-2. ブルーシートをはる（大屋根）



□このように上からすっぽり被せるようにする  
土嚢の置き方は後で説明します。

※棟瓦だけの破損の場合は、棟瓦だけを外して、そこだけにシートを被せる方法もある

## 4-3. ブルーシートをはる（片屋根）



□ブルーシートの端を、木切れなどに包み、壁と屋根の境目の水切り部分に押し込んでネジや釘で固定する。

## 4-4. ブルーシートをはる



- ブルーシートの押さえの土嚢を固定するための紐を結ぶ（窓のサッシ等）  
紐を結ぶ場所がない場合は、水切り部分などにビスを打って紐を結ぶ

## 4-5. ブルーシートをはる



□破風板などにあて木をして、ブルーシートを巻き込みネジなどで固定する

## 4-6. ブルーシートをはる



□他のかたちの屋根の場合も、同じく水切りに巻き込んだり、  
瓦の隙間ではさみ、雨や風の侵入を防ぐようにする

## 4-7. ブルーシートをはる



- 等間隔に置いた土嚢を紐に巻き込みながら設置する。  
このとき、きっちり紐を張ってブルーシートがずれないようにする
- 土嚢には土または砂を入れる。割れた瓦は尖っているので袋が損傷してしまう

## 4-8. ブルーシートをはる（最終工程）



□最後に、穴などがいないか確認し、あれば防水テープなどで防ぐ。

あくまでテープは補強でしかないので注意する

ヒビが入っている程度の瓦はコーキング剤で補修する方法もあるが  
その作業は最後に行く（靴に付くと滑って危ないため）



# 質疑応答